

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月3日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北見支援学校長 土 居 彰



次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

○ 重点教育目標

「個別最適な学び」と「協働的な学び」により児童生徒一人一人の「できた」経験を積み重ねることで、学習に向かう意欲を高め、何を学んだか明確にできる教育の充実を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	職員評価の結果 【平均点(満点4点)】	学校関係者評価の結果
○学校運営	1-1 学校は、働き方改革を進め、業務の効率化・合理化・組織化等により充実した教育活動を行っている。[2.8] 1-2 学校は、ICTを有効に活用し、計画的・効率的に業務を行っている。[2.9] 1-3 学校は、服務規律の保持や不祥事防止について取り組んでいる。[3.3] 1-4 学校は、環境の整備や節約について取り組んでいる。[2.9] 1-5 学校は、学校は、同僚の心身の健康維持に気を配り、業務を行っている。[2.7] 1-6 学校は、初任者・転入者に対して適切な研修を行っている。[3.0]	働き方改革の取組について、創意工夫がなされている。ICTの効果的な活用をとおして、更なる業務の効率化・合理化を進め、教育の質の向上を図ることが大切である。 同僚性の構築に向けて、特に若手職員に対して相談役の配置など、チームで支え高め合える体制づくりも考えられる。 [学校運営協議会委員]
改善方策	働き方改革について、学校経営方針に設定し、改善に向けた具体的な取組を実施する。同僚性の醸成に向けて、体系的な研修の実施等により、心理的安全性やチーム力が発揮しやすい環境づくりを進める。	
○教育活動	2 学校は、専門的な知識の基、児童生徒の教育的ニーズ(個別の教育支援計画・個別の指導計画)に応じた指導・支援を行っている。[3.0] 3 学校は、ICT機器の活用や学習評価をとおして、学習指導の工夫・改善を行っている。[2.9] 4 学校は、児童生徒に対して適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導・支援を行っている。[2.8]	様々な手立てや教材教具の工夫が講じられ、個に応じた指導・支援が行われていることや、定期懇談では、丁寧かつ具体的な説明が行われていることが高い評価につながっていると考えられる。
改善方策	通知表では、児童生徒の成長の様子や目標達成に向けた過程を分かりやすく記載し、懇談時に丁寧に説明する。授業計画の作成や授業評価を確実にし、個に応じた指導・支援を充実させる。ICTの効果的な活用に向けて、計画的に校内研修を実施する。教職員同士で言語環境の整備やロールモデルである自覚をもつよう相互啓発する。	
○生徒指導	5 学校は、児童生徒の人間関係の構築やいじめについて、適切な指導・支援を行っている。[3.1]	日頃の指導や活動の成果が表れている。
改善方策	児童生徒同士のコミュニケーションの機会を大切にし、人間関係の構築やつながりが深まる活動を推進する。	

○進路指導	6 学校は、児童生徒及び保護者のニーズを踏まえ、分かりやすい説明や情報提供を行っている。[3.0]	進路に関わる様々な取組の成果が表れている。
改善方策	進路の手引きの活用や進路に関わる研修会をとおして、進路情報の提供や保護者等のニーズに応えられる体制づくりを推進する。	
○保健指導	7 学校は、児童生徒の健康観察・健康診断等、適切な保健指導を行っている。[3.3]	健康面に関わる日頃の指導の成果が表れている。
改善方策	日頃から、感染症対策や複数での健康観察を実施し、衛生管理や体調管理を徹底する。	
○安全指導	8 学校は、実地的な防災訓練や交通安全指導を行っている。[3.3]	様々な事態を想定した訓練が実施されている。
改善方策	大規模停電を想定した、防災訓練（保護者引き渡し訓練）を実施し、非常時に対応できる安全対策を推進する。	
○学級会計	9 学校は、学級費を適切に使い、保護者へ使途等について十分な説明を行っている。[3.2]	適切に執行されている。
改善方策	学級費の予算立てを計画的に行うとともに、保護者へ使途を明確に示し、学習活動を円滑に実施する。	
○保護者との連携	10 学校は、ホームページや各種便り、メール配信サービス「楽メ」等で情報を分かりやすく、適切に保護者に伝えている。[3.2]	保護者等に対して、ホームページを閲覧いただけるような働き掛けが必要である。
改善方策	ホームページの整理や積極的な「楽メ」の活用を進め、学校からの様々な情報を迅速かつ適切に伝える。	
○地域との連携	11 学校は、地域の人的・物的資源を活用し、地域や関係機関と連携した活動を行っている。[2.9]	こまめにホームページ等で情報を発信していくことが必要である。
改善方策	地域と連携した取組を推進するとともに、各種便り、懇談、研修会、ホームページ等で積極的に情報を発信する。	
○PTA活動	12 学校は、社会情勢を踏まえ、保護者と教職員が連携し、PTA活動を行っている。[3.0]	PTA役員会を中心に、活動内容や活動方法の検討が必要である。
改善方策	より一層保護者が運営、参加、協力しやすい活動の実施に努めるとともに、教職員の負担軽減を進める。	
○スクールバス	13 学校は、スクールバスの安全運行を目指した取組を行っている。[3.5]	保護等から高い評価が得られている。
改善方策	スクールバス委員会を活用し、関係者の連携を深め、即時性と計画性のある対応を行う。	
公表方法	ホームページ、学校運営協議会、PTA役員会	

3 添付資料

- ・令和7年度 学校評価集計（教職員） 1部
- ・令和7年度 学校評価集計（保護者） 1部
- ・令和7年度 学校評価結果の分析 1部